

# 長崎工業高等学校 九州支部同窓会便り

九州支部スローガン  
「繋がる・拡がる」



# 九州支部同窓会便り No.5発行のご挨拶



長崎工業高等学校同窓会 九州支部同窓会 会長 **天ヶ瀬 敏彦** S39年 工業化学科卒



朝夕はようやくしのぎやすさを覚えるころとなりました。会員の皆様には、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。令和4年の会報を発行するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

す。

母校長崎工業高校では、今夏のインターハイでヨット、バスケットボールが出場するなど後輩の活躍、嬉しく思います。長工高九州支部同窓会では、新型コロナウイルス感染症の終息の見通が立たない状況で、8月・9月はテレワークで役員会を開催し、令和3年度の会計報告と令和4年度事業計画が承認されました。事業計画がコロナ感染拡大状況でも遂行できましたことは、会員の皆様のご支援、ご協力の賜であり、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当同窓会役員会では令和4年度同窓会総会及び会員交流懇親会を11月5日に予定しておりましたが、総会、懇親会を万全の体制で開催することは難しいと考え、残念ではございますが、今回も中止するという苦渋の決断をいたしました。

今後とも長工高九州支部同窓会を健全な存在としてその価値を高め、発展させるよう、心を尽くして努力してまいります。会員の皆様におかれましては倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に今日のことばを申し上げます。最澄さん（天台宗の開祖）のお言葉「忘己利他」という言葉があります。（自分のことは忘れ、他人のために生きるという意味）。この「忘己利他」をできるだけ心がければ、世の中はうまくいきます。

では会員の皆様の更なるご活躍とご健康を心からお祈りしご挨拶といたします。

長崎工業高校 本部同窓会 会長 **山田 親** S52年 インテリア科卒



長工九州支部同窓会「令和4年度会報誌」発行に際しまして、一言ご挨拶申し上げます。長工九州支部同窓会の各位におかれましては、口頃より物心に亘るご支援を

賜り、心より感謝いたしております。また、一昨年より続くコロナ禍においては何かと不自由な生活を強いられていることとお見舞い申し上げます。そのような状況下ではございますが、我が母校は昭和12年の創立より数えて、85年目を迎え、卒業生は2万9千人を超えています。また、節目の年を記念するかの如く長崎県高総体において、4本の優勝旗（バスケットボール男子、フェンシング男子・女子、ヨット女子）を持

ち帰る成果を挙げ全国大会出場を掴み取り、工業技術の腕を競う「若年者ものづくり大会」においても、優秀な成績を修めています。今後も後輩たちの活躍にご声援を頂戴できれば幸いです。

さて、今年被爆から77年を迎える原爆慰霊祭に関しましては、今年も母校敷地内の慰霊碑前において式典を執り行い、照円寺の墓前へ日々の安寧をご報告させていただきました。しかしながら当時を知る方々が少なくなり、出席者も若しく少なくなっている現状において、式典について再考する時期に来ているものと思われま。つきましては、学校側と協議を重ね適切な運営の方法を模索したいと存じます。

最後になりましたが、長工九州支部の会員様のご健勝とご多幸を祈念して、会報誌発行に際してのご挨拶とさせていただきます。



## 『コロナ禍での長工生の活躍』



同窓生の皆さまにおかれましては、日ごろより本校の教育活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。本年4月に校長として着任した北島弘明です。「長工で人生を

生き抜く全ての力を身につける」という学校目標のもと、全職員で生徒の育成に精一杯取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、本年度も新型コロナウイルスの影響を受けておりますが、大会は予定通り実施されています。既にご承知のことかと思いますが、生徒の日覚ましい活躍がありましたので、ご報告させていただきます。

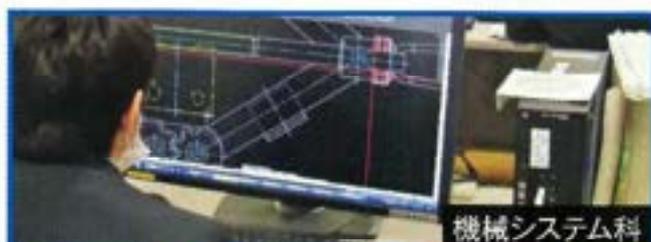
県高総体は、本校始まって以来の快挙となる4つの部活動で優勝しました。

48校の頂点に立つバスケットボール部の初優勝、33回の優勝を阻むフェンシング部女子の

初優勝、4年ぶり15回目のフェンシング男子の優勝、2年連続12回目のヨット部の優勝です。文化部でも、新聞部、科学部、放送部、美術部の4部が日ごろの活動の成果を評価され、全国総文祭へ出場しました。高校生ものづくりコンテスト長崎県大会では、電気工事、電子回路組立、木材加工、自動車整備の4部門で最優秀賞を受賞し、7月に長崎県で開催された高校生ものづくりコンテスト九州大会に出場しました。

九州大会では、4部門に加え、家具工芸部門の5部門で最優秀賞を受賞しました。家具工芸部門を除く、4部門の最優秀生徒は、11月に北信越で開催される高校生ものづくりコンテスト全国大会へ出場します。

今後も校訓「技術の神髄をつかめ」の意思を強く持った生徒の育成を目指していきたくて思っております。引き続き、本校発展のために、ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご活躍とご健康を祈念し、あいさついたします。



機械システム科



機械科



電気科



工業化学科



建築科



インテリア科



電子工学科



情報技術科



関東支部同窓会会長を務めさせていただいております木戸 紀雄です。日頃は、関東支部同窓会のこと、何かと、ご高配を賜り、ありがとうございます。お礼申し上げます。

関東支部同窓会も、いろんな会合、イベント等の活動も、開催できませんでした。また、縮小されました。

長崎工業高校九州支部同窓会の皆様は、自粛が続き、不安を抱いておられることと思います。その状況を受け、九州支部同窓会の總會、懇親会も、会員、および、関係者の健康、安全面を第一に考慮された結果、中止になりました。

各種、行事も縮小されていきました。總會、懇親会を開催することができず、皆様と懇談ができない日々が続き、残念で仕方がなかったと思います。その間、日々、消毒や黙食、3密回避といったウイルス対策に取り組んでこられたことでしょう。その結果、状況も良くなったと思います。このような状況の中で、あたりまえの日常生活ですが、自分は感染しない、感染しても大丈夫だ、などと思わず、三蜜を避け、マスクを着用し、手洗いを敢行されたことと思います。何事もない、平凡な日々が、いかに、大切に、幸せなことか、身にしみて感じたことでしょう。

そして、一日も早い普通の日々の訪れを願うばかりです。だから、久しぶりに開催できる、總會・懇親会が楽しみです。



関西支部同窓会会長の林田と申します。天ヶ瀬会長様を始め、会員の皆様方には日頃より、関西支部に対して、御協力と御支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。さて、新

型コロナに対する感受性は、地域や個人の考え方により、ずいぶん差があるように思えます。海外では通常のインフルエンザと同等の扱いをし、経済活動に舵を切る国が増えて来ました。日本政府も二類相当から五類相当に変更を検討しています。ようやく正常な日常に戻ることでしょう。

さて、ここで、工業高校から工科高校へ変革しようとする流れについて説明します。

工業高校の設立目的は、戦後我が国の産業が急速に工業化され、即戦力として、中堅技術者を養成する必要があった。技術や知識を短期

間に修得させ、企業に送り込んだ。日本の産業の発展に寄与したことはまぎれもない事実である。

しかし、今日 IT 社会という新しい土俵が出現した。製造業（ブルーカラー）、情報産業（ホワイトカラー）の境目のないニューカラー（IT 産業）が出現した。

工業高校生に最先端の技術力や能力をつけさせ、学歴に関係なく活躍出来るフィールドを提供する。その為には、高校3年間は短かすぎるので、高等専門学校や工科大学へ容易に進学出来るようにする。これが工科高校への変革の目的である。専門技術はもとより、いろんな学問を身につけさせ、優秀な工業高校の生徒達に明るい未来と希望を与える改革が進みつつある。企業側もマルチタレント的な人材を求めている。

コロナが終息し、皆様に会える日を楽しみにしております。



### 「最後の同窓会」

まだ桜の花が残る頃、電話のむこうに嬉しい声「第10回高島中学校、最後の夕顔丸同窓会をやるかと思っている。出来るだけ多く声ばかり

けてくれんね。」前回は前々回もこれっきりのつもりの同窓会であった。70歳の古希、これも区切りの口実だろう。理由は何でもいい、また楽しみができた。半年先が待ち遠しい……

窓口でカモメ長崎往復切符、座席は進行方向左窓側をゲット、車窓の向こうの有明海の眺めが好きだ。つまみをほおぼりながらの缶ビールがいい。

やがて諫早湾の潮止め堤防の向うに雪仙普賢岳が見えてくる、「お帰り」いつもそう言ってくれる。

長崎駅前待ち合わせた名古屋組と合流、今でも現役で地元の人々の足と頑張っている路面電車で昔を探しに。いつの間にか一律100円運賃が120円になっている。まずは腹ごしらえに新地の中華街へ、「俺はチャンポン、私は皿うどんバリバリよ」やっぱり長崎で食の主役はこれか。

何度帰ってもなぜか訪れたいグラバー園と大浦天主堂を急ぎ足で巡り皆が待っているホテルへ。

眼下に長崎港を見下す世界三大夜景と呼ばれる眺めにしばし見とれる。

今回は卒業生203名の中、42名の参加をみた。皆んな昔を探しに、そして会いに来るんだなあ。夜の更けるのを忘れ語り合いそれでもなお忘れ物を残した様な気分の惜別れを惜しみながらそれぞれ帰途につく。

普賢岳が「また帰って来いよ」と背中に声をかけてくれる。

電車の揺れと昨日からの心地よい疲れにうとうとしている耳に「第11回最後の夕顔丸同窓会ばするけん」懐かしい声が聞こえてきた。

### 「高島炭鉱と夕顔丸と軍艦島」

私は昭和19年長崎港南西14.5km沖合の高島炭鉱に生まれ、38年長崎工業電子科を卒業、福岡市に就職する迄を島で過ごしました。三菱鉱業高島、その歴史は古く

#### ●1185年(鎌倉時代)

壇ノ浦源平合戦の平家の落ち武者が住み着いたと言われ深堀氏の領地を経て佐賀藩鍋島家の領地となる。

#### ●1695年(元禄8年)

五平太が浜辺で焚火中、石が燃える事で石炭が発見されている。

#### ●1817年(文化14年)

高島の石炭採掘が佐賀藩直営となる。

#### ●1868年(慶応4年/明治元年)

高島炭鉱が佐賀藩とグラバー園で知られるトーマスグラバーとの合弁会社となる。

#### ●1874年(明治7年)

長崎の直轄下を経て高島直営となり同年蓬萊社(後藤象二郎)に払い下げられる。

#### ●1881年(明治14年)

三菱の岩崎弥太郎に譲渡され三菱高島鉱業所として後に至る。

#### ●1887年(明治20年)

三菱造船所に於いて日本最初の鉄船「夕顔丸」が進水した。因みに「夕顔丸」は坂本竜馬が船中八策を起草したと言われる上佐藩船と同船名です。長崎に亀山社中を開いた竜馬に因んで命名されたと思われる。その後客船に改造され、1931年(昭和6年)より長崎港～高島～端島間を就航したが1962年に老朽化のため廃船となり進水から75年の歴史に幕を閉じた。

#### ●1916年(大正5年)

端島に日本最初の鉄筋高層アパート(7階建て)が完成。

#### ●1945年(昭和20年)

端島で石炭積み込み中の白寿丸が米軍魚雷を受け沈没、同島が軍艦土佐に似て魚雷を受け軍艦島と言われる所以である。

#### ●1955年(昭和30年)

高島と端島が合併(高島1.1km<sup>2</sup>、人口16,904名、端島0.1km<sup>2</sup>、人口4,770名)世

界一人口密度の高い島（町）と言われる。その後、時代は石炭から石油産業へと移行、各地の炭鉱が次々と閉山に追い込まれる。

●1974年（昭和49年）端島炭鉱閉山。

●1986年（昭和61年）高島炭鉱閉山。

高島と端島（軍艦島）は時代の激しい荒波の中、その都度姿を変えながら住民の生命と生

活を支え守り続けてくれた。今はその役目を果たし切り何もなかったかの様に島の西、東シナ海の水平線に沈む真っ赤な夕陽のように穏やかに美しくその姿を浮かべている。

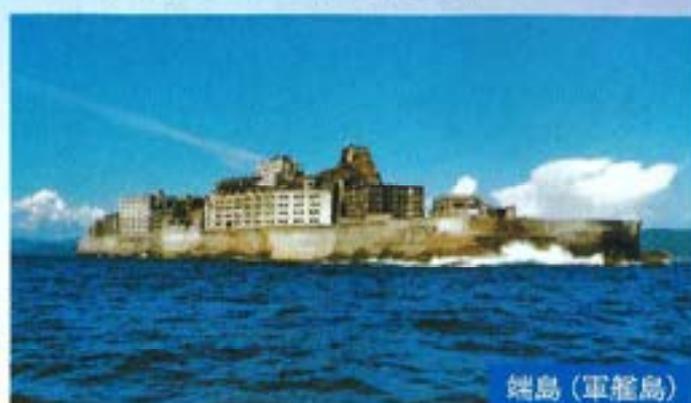
●2022年（令和4年）

5月現在、高島人口307名。

端島人口0（ゼロ）名である。



夕顔丸



端島（軍艦島）

  **随筆**  
コーナー

「ばってん便り」

内田 隆 S40年 電子工学科卒（長崎市在住） 



長崎工業高等学校九州支部同窓会の皆さま初めまして。電子工学科「昭和40年卒業」の内田です。九州支部の会報への寄稿依頼があり承諾したもののさて何をと悩みながら自

身の近況と変化している長崎市の話題を報告します。

私は卒業後関東へ就職しその後Uターンで長崎に戻りました。結婚後は転勤族で各地を転々とし、実は私も平成9年から定年（60歳）までの12年間福岡での単身赴任生活でした。福岡の街は魅力あるいい処でした。定年を前に飲み会が続き休に違和感を覚え「CTR検査」を受けたところ解離性人動脈瘤が見つかり即救急車で九大病院へ。大手術に一命をとりとめました。しばらくは養生と通院で福岡に滞在し長崎に戻ってきました。長崎でも体力回復を目指しウォーキングで近くの海岸や山を散策していたところ、近くの老人たちのたまり場に出会い炭焼きや畑仕事を体験し、そのうち自治会の会長を依頼され、現在は長崎市が推し進めている

「まちづくり協議会」の準備委員会の委員、近くの小学校の交通指導員として毎朝の見守り、また学校サポーター等々忙しい日々を送っています。これも一命が助かったのは何か意味があることと思ひ自分のできることに挑戦しています。

さて、変化する長崎市の話題。

長崎駅周辺の新しい街づくりが行われています。終着駅長崎は引き込み線が多くありましたが新幹線開業を目指し在来線を含め高架となり、大きなスペースができ大きく変化しています。数年前には長崎駅南に長崎県庁、長崎県警本部が移転し、長崎駅西側には新しく国際会議場「出島メッセ長崎」にホテル、そして長崎警察署および免許センター、NBC長崎放送も新築移転しました。近くの三菱幸町工場跡地には、サッカーチームのV・ファーレン長崎のスタジアム建設も始まっています。長崎市役所も長崎市公会堂跡地に高層の新庁舎が建設されています。

また長崎のシンボル稲佐山は「新世界三大夜景」として登録されていますが、新しく中腹の駐車場から「スロープカー」で山頂まで行くことができます。今まで山頂は展望台だけでしたがジャパネットの関連企業にてレストラン等飲食ができるスペースも開業し山頂での憩いの場が充



鍋冠山展望台から望む長崎港

突されました。対岸の鍋冠山展望台も長崎港が見下ろせる私の好きな場所です。来崎の折には上ってみてはいかがでしょうか。

長崎県には多くの世界遺産がありますが、いろいろ話題になります端島「軍艦島」を望む野母崎には「恐竜博物館」がオープンし、また長崎港では「ナイトクルーズ」も始まりました。今、長崎は新幹線の開業を期待し観光事業に力を入れています。<2022年6月寄稿>

**随筆** コーナー **【続】「ぼってん便り」** 新幹線が開通した

内田 隆 S40年 電子工学科卒(長崎市在住)

西九州新幹線開業、長崎～武雄温泉駅の間(66km)を結ぶ日本一短い新幹線が令和4年9月23日に開業しました。

西九州新幹線「かもめ」は、白い車体に赤のラインが入ったスマートな車両で開通イベントが盛大に行われました、特に午後からの自衛隊「ブルーインパルス」の飛行は一目見ようと県内外から多くの人が詰めかけ、長崎市内は大渋滞の混乱が発生しました。残念ながら午後から雨が降り出し予定されていた旋回飛行等が短縮されたようです。前日のテスト飛行は晴天の中、機体もはっきり見え轟音も響き渡り五輪のマークやハートマークもきれいに描かれました。本番が雨で本当に残念でしたが初めて見る光景に感動しました。

新長崎の駅舎は完成しましたが、今も東口は来年の全面開業に向け工事が続いています。

その奥に見える駅舎は5代目になります。ここで長崎駅の歴史について、(NBCニュースより)実は初代の駅舎は現在の位置にありませんでした。初代の駅舎は今から125年前の1897年で、駅舎は現在の浦上駅の場所に関業しました。

そして2代目は1912年に今の長崎駅の場所に駅舎が建てられました。長崎らしい洋風の駅舎は原爆によって焼失し、その4年後に再建された大きな三角屋根がシンボルの3代目駅舎です。三角屋根の正面には大きな時計があり通学時には時刻を見ながら、バスに乗変えたり長崎駅から家の町まで歩いたりした記憶に残る懐かしい駅舎でした。3代目の駅舎は50年間みんなに親しまれました。

2000年には4代目駅舎の完成し「かもめ広場」では様々なイベントが行われました。新駅舎への移転前の最後の日には多くの市民や鉄道ファンが詰めかけました。そして2020年5代目となる今の長崎駅が完成しました。建設費(70億円)旧駅舎より150m 西側に移転、高架化に伴い2階がホーム、1階が改札口、今年に入ってから「かもめ市場」も完成しました。9月23日には西九州新幹線も開業して新しい長崎駅の歴史が始まります。

<2022年9月寄稿>



JR武雄温泉駅を出発する西九州新幹線の始発列車



このQRコードをスマホやタブレットで読み取ると  
西九州新幹線開業セレモニーの動画がご覧いただけます



数少ない、苓岐出身の長崎工業高校卒業生として今回、皆様にお便りを届ける事になりました。

卒業して早や50年近くになります。高校での経験を生かすことなく、家業が

元々、水産の仕事をしていた関係上、今日まで、苓岐島内で鮮魚の卸売業に従事しています。

志を持って入学し、岩屋の地に建てられたばかりの新校舎で、環境が一変した中、学校や下宿での生活が始まりました。何をすることも、全て初めての事ばかりで、楽しかったり、戸惑ったりの連続でした。入学したばかりの頃は、長崎弁の「おい」「わい」の言葉使いが分からず、苦い経験をよくしていました。上級生になるにつれ、クラスの友達や他校の生徒とも仲良くなり、交流を深めて行きました。

しかし卒業してからは皆様と会う機会が無くとても寂しく又残念です。苓岐は行政面が長崎県、そして経済面は福岡県と2極化しています。そういった関係上、当時の移動は苓岐から船で福岡に渡り4時間半位列車にゆられて浦上駅で降りていました。冬は外が真っ暗で何となく寂しく

変な気持ちにかりたてられたものでした。

反対に帰省する時は大村線の鈍行を良く使っていました。夜遅く出発して朝6時ぐらいに福岡に着きそこから苓岐に帰っていました。今では考えられない所用時間の長さです。その割には疲れることもなく、今思えば不思議な感じです。

下宿先が小峰町でしたので、長崎大学の校舎を通り抜け長工高校に通っていました。その時すれ違うどこかの女子高校生と会うのがとても楽しみでした。住んでいる所の環境はとても良く、近くの浦上天主堂の階段から見る夜景はとても素晴らしかったです。セブンツールボール（ボーリング場）、大橋球場（ビッグNスタジアム）、カレーの夕月、その他数えきれない程の名前が思い出されます。3年間の長崎市内生活でしたが、実に中身の濃いものでした。

現在は長崎に行くことがなかなか無いが次に行く機会があれば思い出に浸る時間を求めてみたいと思います。

今後、予定が許す限り九州支部同窓会に出席して、会員の皆様との出会いを大切にしていきたいものです。

長工高生の頑張りをご活躍を期待し、また同窓会の皆様のご健康とご多幸を祈念致します。

苓岐に遊びに来られたら、何時でも連絡して下さい、待っています。



ブリの水揚げ



サザエの水揚げ



過日、突然電話が鳴り九州支部同窓会理事の山崎先輩から電話。何やら不吉な予感がしましたが、今回の原稿の依頼でした。同窓会の仲間を増やすことを目的に、今回は若い

世代からの寄稿をとのことで、高齢者の仲間入りをした私？に白羽の矢がたちました。

「どう」と言われましたが、昔から学校の先輩のいわれることは絶対で謹んでお受けした次第です。

かと言って何か題材があるわけでもないし、実は同窓会活動も就職した大手電機メーカーの先輩に誘われて九州支部同窓会に1回だけお邪魔ただけで、あとは企業の長工会に数回参加させて頂きました。それもここ10年くらいの話で、卒業以降あまり熱心には活動していませんので、会誌に寄稿するとしても一休何を書けばいいものか迷いながら、入学前後の思い出から紐解いてみました。

岩屋町の新校舎に昭和46年に入学。同期には長崎工業初の女子生徒が3名いました。

私は西彼杵郡多良見町の出身で通学は喜々津～道ノ尾の大草線の国鉄を利用していました。鉄道の電化一手前でディーゼルに混じってSLも走っていました。昭和44年の長崎国体にあわせて市布線が開通されたこともあり、大草線は列車の本数も少なく1～2時間待ちは当たり前前の時代でした。部活はハンドボール部に。新入生はすべて未経験者。その年の高総体までは旧校舎のグラウンドを借りて、長崎大学のメンバーと一緒に汗を流しました。毎日、道ノ尾からバスで長崎大学まで行って練習し、帰りは少し遅れると、道ノ尾駅近くの橋の上のバスの中

から列車を見送ることになったことを思い出します。

さて卒業後は昭和49年に福岡の大手電機メーカーに就職。昭和48年秋に起こった「オイルショック」後の事でした。普通、新入社員教育は3ヶ月間行われるところ、配属先の職場では製品が売れないため販売店への出向など大変な時期で新入社員の配属どころでなく、結果、9ヶ月の研修後配属され本格的に社会人活動をスタートしました。

以来、福岡市、長崎県諫早市、佐賀県鳥栖市での勤務を経て2009年に退職。その後2010年に北九州市で職を得て移り住み12年が経過しました。当初の北九州市の印象は、七色の煙の出る煙突がある街で空気の悪いことこの上ない。さらに反社会的組織が跋扈（ばっこ）し怖い街とのことでしたが、現在環境モデル都市としての取り組みは日本で最も高い評価を得ており、煙突から出る煙の色は全て北九州市がモニタリングし、変化があれば即企業へ連絡が行くしくみになっているそうです。晴れた日は真っ青な空です。2011年東日本大震災では宮城県石巻市の災害廃棄物の受入れを行い社会的な責任も果たしています。また、反社会組織は県警の取り組みによりほぼ壊滅状態になっており、たいへん住みやすい街となりました。

食べ物も玄界灘、豊後水道、関門海峡から集まる魚は美味です。また、肉うどんと焼うどんの本場で、最近はお蕎麦がたいへん美味しい豊前裏打会の店も人気です。

そして先日、スペースワールド跡地に「THE アウトレット」がオープンしました。

この機会に、是非北九州市に遊びに来て頂ければ有難いと思います。今後も、長工会の活動に積極的に参加していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。



関門大橋



焼きうどん

大高建設  
会長

大木 孝朋 氏

## 【はじめに】

福岡県を中心とした建築業界月刊誌「I・B まちづくり」がある。その2022年7月号 (vol. 49) に九州支部同窓会顧問の大木孝朋様の会社が4ページに亘って掲載された。

大木顧問は1988年から1998年の11年間の長きに亘って我が長工校九州支部同窓会会長を務めて頂いた方でもある。また2021年第3号の九州支部同窓会便り随筆コーナーで「在校6年間・移転3回の通学」を寄稿し大好評を得た。その内容は「九州支部同窓会ホームページ」の「九州支部同窓会便り」をご覧ください。

以下、インタビューは2022年5月行われそれを元に掲載された「I・B まちづくり」から大木顧問のコーナーを転載した。一部省略、編集した部分もあるが「I・B まちづくり」発刊元(株)データ・マックス様には御了解を頂いている。(事務局長 杉本賢典)

## 「地元発展に貢献する」創業の志を未来永劫に継ぐ

大高建設(株)大木会長は1933年生まれの89歳、長崎県大村市出身、1946年(終戦の翌年)長崎工業学校の建築科に入学、1952年(昭和27年)に卒業後、一級建築士、測量士、火薬取扱主任者のライセンスを取得し、香焼炭鉱、長崎市の建築設計事務所、陸上自衛隊(大村、北海道)を経て、1961年当時東証一部上場の岡崎工業(株)(当時の八幡市)へ入社した。

その後、福岡支店に勤務、物流施設の建築に携わり、福岡市の東区多の津の「流通センター」の開発を担当した。岡崎工業は企画力と鉄骨建築の技術力により、業界内で高い評価を受けていた。しかし、オイルショックの影響で、岡崎工業福岡支店は突然の閉鎖を余儀なくされた。その後、「流通センター」開発関係者によって、営業担当の高崎彰一氏と建築部長の大木会長の送別会が開かれた。その送別会で意外な事が起きた。送別会を企画した「流通センター」の地権者らから、「両氏に居てもらわな

いと困る。我々が全面的に支援するので、引き続き福岡の流通業務地区の開発に尽力してほしい」と要請され、送別会から一転、新会社設立の決起集会となった。その時、高崎氏は45歳、大木会長は42歳、1975年3月、「大高建設(株)」が設立された。その後「大高建設」は大規模流通センター「福岡インターパーク」提案・企画から参画、計6棟(約14万㎡)の物流施設を建設した。そのほかにも鉄骨造の大規模および中小の物流施設を中心に、工場・オフィスビル・医療福祉施設・商業施設・集合住宅など、さまざまな分野の建物を福岡のまちに建設して来た。

創業43年(2018年)に代表取締役を退任、そして事業承継を完璧に実現させた。その時85歳になっていた。

## 高い企画力と技術力

## 物流建設のパイオニア

「顧客の期待に応えること」を最優先に置く同社は、「顧客がどのような課題を抱えているのか」、「建物をつくる目的は何か」などを明らか

にして、顧客との信頼関係を積み上げ、顧客とともに建築物をつくり上げることを徹底してきた。

高い技術力が評価される会社には、一級建築士15人、一級施工管理技士21人が在籍。資格取得の支援も積極的に実施してきた。

「一級建築士、一級施工管理技士であることは必須」という社風が、技術集団として高いレベルを保つ要因の1つである。

#### 業界発展のために

同社の経営理念は、「顧客の期待に応え技術の真髄を追求し、品質と安全を確保し、社員に幸せを与え地域社会に貢献する」だ。

#### 健康第一、仕事第二の心得

大木会長は42歳で同社を設立するまで、技

術職を経て営業に専念していた。「20～30代は率先して“雑用”を引き受けました。人間関係を広げるために、会合などの司会・進行係や幹事・世話役を率先してやるように心がけてきました。率先することで、“大木は会を立派に仕切っている”という評価をいただきました。雑用を引き受けることで、人とのつながりが深くなり、自身の財産になりました」（大木会長）。

高い技術力と開発研究、そして行動力の大切さを力説する大木会長は最後に、「健康第一、仕事第二。何をおいても「健康」が最優先です。オーバーワークで心身の健康を損なうことは断じてあってはなりません」と話した。

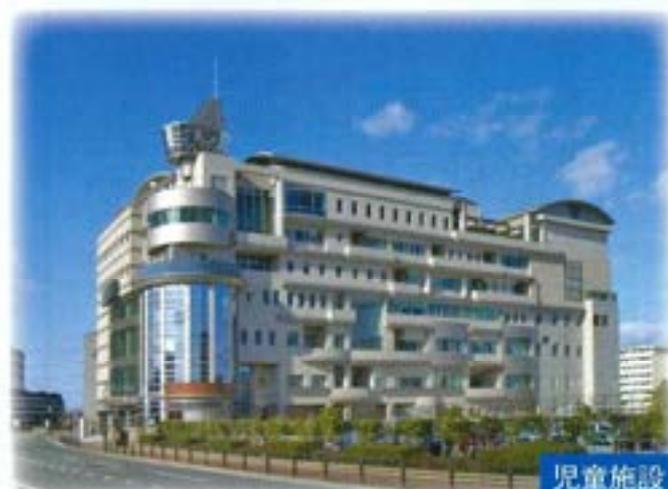
#### \* 施工実績（大高建設㈱のホームページより）



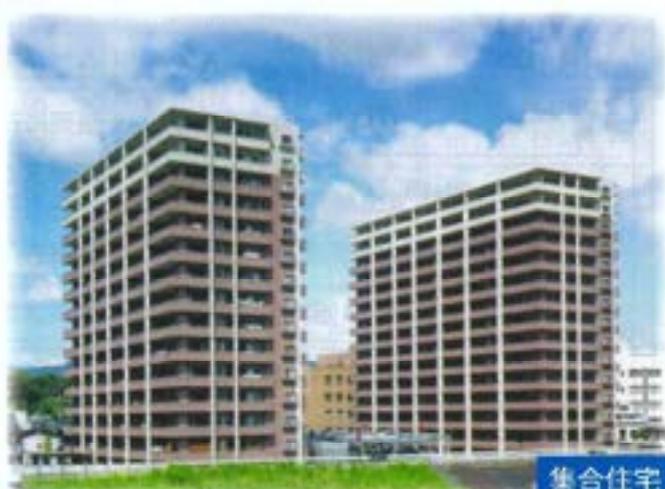
大規模流通施設



流通施設



児童施設



集合住宅



## 令和3年度(2021/10~2022/9)活動報告

日程	項目	内容	備考
2021年 11月1日	九州支部同窓会便り No.3発行	「令和3年度総会・懇親会」中止案内を兼ね 随筆、活動報告等	発行数500部
11月13日	関東支部同窓会 総会・懇親会	コロナ禍中止	東京都
11月18日	第11回ゴルフ大会	コロナ禍中止	福岡市
11月20日	九州支部同窓会 総会・懇親会	コロナ禍中止	福岡市
11月28日	関西支部同窓会 総会・懇親会	コロナ禍中止	大阪府
2022年 1月	長崎県人会定期総会	コロナ禍中止	福岡市
2月8日	九州支部同窓会便り 2月号(第4号)発行	九州支部該当卒業生へのお祝いメッセー ジと同窓会加入のお願い	該当卒業生63名
2月28日	本校同窓会入会式	九州支部該当卒業生へ便り3号・4号配布	長崎市 九州支部欠席
4月19日	第12回ゴルフ大会	ゴルフを通じて九州支部会員の交流会	大博多 CC 参加者 8名
6月25日	本部同窓会総会・懇親 会	コロナ禍のため幹事会として開催	長崎市 天ヶ瀬会長・杉本副 会長出席



## 令和4年度(2022/10~2023/9)活動計画

日程	項目	内容	備考
2022年 10月18日	第13回ゴルフ大会	ゴルフを通じて九州支部会員の交流会	大博多 CC 参加者 7名
11月1日	九州支部同窓会便り No.5発行	「令和4年度総会・懇親会」中止案内を兼 ね随筆、活動報告等	発行数500部
11月5日	九州支部同窓会 総会・懇親会	コロナ禍中止	福岡市
11月12日	関東支部同窓会 総会・懇親会	九州支部欠席	東京都
12月4日	関西支部同窓会 総会・懇親会	九州支部欠席	大阪府
2023年 1月	長崎県人会定期総会	福岡に在住の長崎県出身者の親睦会	福岡市
2月	九州支部同窓会便り No.6発行	九州支部該当卒業生へのお祝いメッセ ージと同窓会加入のお願い	該当卒業生分発行
2月	本校同窓会入会式	九州支部該当卒業生へ便りNo.5・No.6配布	長崎市 天ヶ瀬会長出席
4月	第14回ゴルフ大会	ゴルフを通じた支部会員の交流会	大博多 CC
6月	本部同窓会総会懇親会		長崎市 天ヶ瀬会長出席
10月	第15回ゴルフ大会	ゴルフを通じた支部会員同士の交流会	大博多 CC
11月4日	令和5年度九州支部同 窓会総会・懇親会	令和4年度同窓会活動報告と令和5年度 活動計画	福岡市



## 会計報告

### 令和3年度(2021/10~2022/9) 実績

費目	収入	支出	繰越金	備考
前年繰越金	207,175			
同窓会本部交付金	100,000			
年会費	132,000			2,000円×66人
総会・懇親会	0	0		コロナ禍中止
雑収入・支出	38,000	0		寄付
印刷費・事務通信費		234,278		支部便り発行
部外行事参加費		24,600		本部総会交通費
その他		16,094		HP年会費、振込手数料
合計	477,175	274,972	202,203	

### 令和4年度(2022/10~2023/9) 予算

費目	収入	支出	繰越金	備考
前年繰越金	202,203			
同窓会本部交付金	100,000			
年会費	160,000			2,000円×80人
その他	100,000			寄付、広告等
総会・懇親会	320,000	320,000		
印刷費・事務通信費		320,000		支部便り発行
部外行事参加費		80,000		他支部との交流費
その他		56,000		HP年会費、振込手数料
合計	882,203	776,000	106,203	



## 2022年度 役員名簿

役職	氏名	卒年	科名	住所
顧問	大森 奨	S20	工業化学科	福岡市
顧問	岸川 春雄	S25	電気科	福岡市
顧問	大木 孝朋	S27	建築科	福岡市
会長	天ヶ瀬 敏彦	S39	工業化学科	福岡市
副会長	杉本 賢典	S40	機械科	春日市
事務局長	杉本 賢典	S40	機械科	春日市
事務局	事務局長兼務			
理事	山崎 由喜夫	S40	電子工学科	太宰府市
理事	峰 隆	S42	電気科	北九州市
理事	高比良 靖	S47	機械科	筑紫野市
理事	小林 稚明	S48	工業化学科	福岡市
監査	宮本 武重	S42	建築科	福岡市



# 長崎県立長崎工業高等学校九州支部同窓会会則

令和4年10月21日一部改訂

## 第1章 総則

第1条 本会を長崎県立長崎工業高等学校九州支部同窓会と呼び運営拠点として事務局を設け事務所は事務局長宅とする。

第2条 本会は会員相互の親睦を図り、連絡・交流を密にすると共に九州支部及び母校そして故郷長崎の発展のために尽力することを目的とし、平成29年4月1日設立した。

## 第2章 活動

第3条 本会は前章の目的達成のため、次の活動を行う。

1. 年1回の総会を開催する。
2. 総会に向けて、年数回の役員会を開催する。
3. 母校及び本部と各支部との連帯、交流を積極的に行う。
4. その他、本会の目的達成に必要と認められる諸活動を行う。

## 第3章 会員

第4条 本会は会員を次のようにする。

1. 長崎工業高等学校の卒業者と、在学又は在職した人を会員とする。
2. 本会は前項の会員を以て構成する。

## 第4章 役員及び役員会

第5条 本会は次の役員を置く。

顧問(若干名)、会長(1名)、副会長(1名)、事務局長(1名)、事務局(若干名)、理事(若干名)、監査(1名)を置く

第6条 役員を選出及び任務

1. 顧問役 会長経験者で会の運営について相談を受ける。
2. 会長 総会に於いて選出し、会の代表責任者として会の運営を統括する。
3. 副会長 総会に於いて選出し、会長を補佐する。
4. 事務局長 総会に於いて選出し、本会の運営の事務責任者とする。
5. 事務局 総会に於いて選出し、事務局長を補佐する。
6. 理事 総会に於いて選出し、本会の運営を遂行する。
7. 監査 総会に於いて選出し、本会の会計を監査する。

第7条 役員任期は2ヶ年とし、留任はこれを防げない。期末(9月)の役員会で新任または、再任の議決を行う。

第8条 役員会は前記役員を以て構成し、会の運営を協議執行する。

第9条 役員会の議決は出席者の過半数以上の賛成が必要である。

## 第5章 会計

第10条 本会の運営に必要な経費は年会費 2,000 円及び総会参加費、寄付金その他の収入を之に充てる。

第11条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日を終了日とする。

## 第6章 総会

第12条 本会は毎年1回の定時総会を開く、但し役員会によって総会にかえることが出来る。

第13条 総会での主たる議事は次の通りである。

1. 前年度活動報告と今年度活動予算方針の決定
2. 会則の改廃
3. 役員改選
4. 会務、会計報告
5. その他

第14条 総会の議決は、出席者の過半数以上の賛成を必要とする。

## 第7章 付則

第15条 会員であれば、役員会に参加することが出来る。



## 2021年度 年会費/ご寄付 を頂いた皆様方

ご協力を賜り有難う  
ございました

No.	卒年	氏名	科名	金額	住所	No.	卒年	氏名	科名	金額	住所
1	S16	川島 秀雄	木材工芸科	2,000	福岡県	35	S39	浜崎 昭二	機械科	2,000	熊本県
2	S17	中村 四郎(物故)	応用科学科	2,000	佐賀県	36	S39	八十島 修	電子工学科	2,000	福岡県
3	S20	大森 奨	工業化学科	2,000	福岡県	37	S40	坂本 良雄	電子工学科	2,000	熊本県
4	S23	三浦 武夫	応用化学科	2,000	宮崎県	38	S40	杉本 賢典	機械科	2,000	福岡県
5	S24	内野 利行	建築科	2,000	福岡県	39	S40	山口 茂三郎	建築科	2,000	福岡県
6	S24	樋口 直幸	建築科	2,000	大分県	40	S40	西岡 敬則	工業化学科	2,000	福岡県
7	S24	芳野 盛成	電気科	2,000	福岡県	41	S40	米田 利夫	工業化学科	2,000	福岡県
8	S25	岸川 春雄	電気科	2,000	福岡県	42	S40	山崎 由喜夫	電子工学科	2,000	福岡県
9	S25	下見 春男	機械科	2,000	福岡県	43	S40	松水 憲二	電子工学科	2,000	福岡県
10	S27	大木 孝朋	建築科	2,000	福岡県	44	S40	中村 一晴	電子工学科	2,000	福岡県
11	S27	中溝 文之	造船科	2,000	福岡県	45	S40	養川 幸雄	木材工芸科	2,000	福岡県
12	S28	吉田 義晃	機械科	2,000	佐賀県	46	S41	柿原博次	建築科	2,000	福岡県
13	S29	富永 篤彦	建築科	2,000	熊本県	47	S41	近藤 光	建築科	2,000	福岡県
14	S30	岩本 正	機械科	2,000	大分県	48	S42	上園 賢三	電気科	2,000	佐賀県
15	S30	池田 正治	工業化学科	2,000	福岡県	49	S42	宮本 武重	建築科	2,000	福岡県
16	S30	谷本 正則	建築科	2,000	福岡県	50	S42	森内 勉	電気科	2,000	熊本県
17	S30	協満 三郎	電気科	2,000	福岡県	51	S43	高比良政志	建築科	2,000	福岡県
18	S32	関 勇	建築科	2,000	福岡県	52	S44	香川 敏夫	電子工学科	2,000	福岡県
19	S33	為成 邦洋	機械科	2,000	福岡県	53	S46	峰 重治	造船科	2,000	熊本県
20	S33	松川 浩吉	電気科	2,000	福岡県	54	S47	浅井 隆	機械科	2,000	佐賀県
21	S34	辻家 栄 郎	電気科	2,000	宮崎県	55	S47	久保 貞己	電気科	2,000	佐賀県
22	S35	川添 勝佳	電気科	2,000	福岡県	56	S47	糸瀬 慶二	電気科	2,000	福岡県
23	S35	林田 英徳	工業化学科	10,000	県外支部	57	S47	高比良 靖	機械科	2,000	福岡県
24	S36	清原 康二	建築科	2,000	福岡県	58	S47	若杉 元司	機械科	2,000	大分県
25	S37	山村 道生	機械科	2,000	大分県	59	S48	小林 雅明	工業化学科	2,000	福岡県
26	S37	田坂 一英	電子工学科	2,000	熊本県	60	S49	川崎 隆一	機械科	2,000	福岡県
27	S38	片岡 勉	工業化学科	2,000	熊本県	61	S49	小田 弘一	造船科	2,000	長崎県
28	S38	古木 壽勝	機械科	2,000	福岡県	62	S49	小道 和則	電気科	2,000	福岡県
29	S38	清水 泰昭	工業化学科	2,000	大分県	63	S49	汐崎 義幸	電気科	2,000	福岡県
30	S38	渡部 由紀夫	電子工学科	2,000	福岡県	64	S51	原口 裕二	造船科	2,000	福岡県
31	S39	天ヶ瀬 敏彦	工業化学科	30,000	福岡県	65	S60	山口 信人	機械科	2,000	大分県
32	S39	楠田 賢一	工業化学科	2,000	山口県	66	S62	山口 洋一	インテリア科	2,000	熊本市
33	S39	田嶋 賢次(物故)	機械科	2,000	福岡県	67	H28	沖迫 優祐	工業化学科	2,000	福岡県
34	S39	新宮 俊文	工業化学科	2,000	宮崎県			合計		170,000	



### 【編集後記】

11月5日に予定していた総会・懇親会はコロナ禍のため3年連続の中止となりました。その様な中昨年は「九州支部同窓会便り」No.3を発行し、

会員400名の方々に押送致しました。その後、会員の方々に読後感想を聞きまして「良かった、今後も発行を続けて欲しい」と喜んでいただきました。

今回も2022年度「九州支部同窓会便り」第5号を発行して皆様にお届けし、同窓会の絆を繋いで行きたいと思っております。

昨年は九州支部同窓会として初めて年会費2,000円を皆様にお願ひ致しました。その結果

ご寄付含めて67名様にお振込みを戴きました。この場を借り厚く御礼を申し上げます。年会費は「九州支部同窓会便り」の発行等を含め大切に使用させていただきます。今年度もお願いする事になりますが宜しくお願ひ致します。

また長丁高2021年卒業生から5名、2022年卒業生から7名、九州支部同窓会への人会ハガキが届きました。ありがとうございました。

コロナ禍のため歓迎会も出来ず残念な思いですが機会を設けお会いする日を楽しみにしています。九州支部同窓会のスローガンは「繋がる・拡がる」です。これからも宜しくお願ひ致します。結びに「九州支部同窓会便り」発行にご尽力いただきました皆様方に感謝御礼を申し上げます。(事務局長：杉本賢典)

# 校歌

作詞 樋田清之  
作曲 沖野正

一 文化の潮、いち早く、  
ゆかりの港、長崎の  
聖地の丘に、堂雪の  
三年の青春を、讀みなり  
四年  
二 科学の叡智、眼に澄みて  
鉦音高き、工業の  
われらの腕、万象を  
輝く幸福に、変ふるなり  
三 光よ風よ、大空よ  
大地をよみて、我が立まば  
熔炉にたぎる、情熱に  
世は栄えゆく、誇りあり  
世は栄えゆく、誇りあり  
世は栄えゆく、誇りあり

## ホームページ

【長崎工業高等学校九州支部同窓会】



<https://chokokyusyu.web.fc2com/>

【長崎県立長崎工業高等学校】



<http://www2.nagasaki-th.ed.jp/>

【長崎工業高等学校同窓会本部】



<http://nagasaki-th-dos.flier.jp/>

【長崎工業高等学校関東支部同窓会】



<https://chokokanto.com/>

【長崎工業高等学校関西支部同窓会】



<http://choko-kansai.com/>

★二〇二三年（令和五年）度 総会・懇親会は  
十一月四日（土）を予定しております。  
場所・時間等の詳細は別途郵便等でご案内します。  
九州支部同窓会ホームページにも掲載致します。

### 【年会費のお振込みはこちらまで】

口座番号:00930-0-239037 (ゆうちょ銀行)

加入者:長崎県立長崎工業高等学校九州支部同窓会

年会費:2,000円(2021/10/1~2022/9/30)

### 【事務局連絡先】

〒816-0833 福岡県春日市紅葉丘東 8-55

事務局 長:杉本 賢典

携 帯:090-9725-1554

T E L ・ F A X:092-574-5864

E-mail [sugimoto@csf.ne.jp](mailto:sugimoto@csf.ne.jp)